

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 中央可鍛工業株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 5607 URL <http://www.chuokatan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武山 尚生  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 三浦 潔 (TEL) 052-805-8600  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	19,299	19.1	500	218.2	1,004	116.3	765	196.0
29年3月期第3四半期	16,190	△4.7	157	△50.0	464	△49.6	258	△66.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,027百万円( -%) 29年3月期第3四半期 △781百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	52.61	-
29年3月期第3四半期	17.76	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	28,821	18,569	62.7
29年3月期	27,536	17,691	62.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 18,098百万円 29年3月期 17,213百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	5.00	-	5.00	10.00
30年3月期	-	5.00	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,800	13.5	770	113.5	1,370	47.2	1,080	90.1	74.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	15,400,000株	29年3月期	15,400,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	851,216株	29年3月期	851,216株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	14,548,784株	29年3月期3Q	14,548,815株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断できる一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善による設備投資の増加や堅調な雇用・所得情勢を背景に、引き続き緩やかながらも回復傾向で推移いたしました。世界経済におきましては、政治情勢による経済の不確実性が景気の下振れリスクとなるなど、先行きが懸念される状況が続いております。

当社グループの主要取引先であります自動車業界は、国内では、新型車の投入効果により販売台数は堅調に推移しました。海外では米国市場における需要の停滞感が見られるものの、中国・アジアでの生産及び販売が堅調に推移しました。産業機械部品につきましては、建機及びロボット部品が引き続き好調に推移しました。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は192億99百万円（前年同期比19.1%増加）、営業利益は5億円（前年同期比218.2%増加）、経常利益は10億4百万円（前年同期比116.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億65百万円（前年同期比196.0%増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 可鍛事業

当セグメントにおきましては、国内向け小型トラックの受注増加、ミニバンやSUV車の受注が引き続き好調を維持し、また、建機及びロボット部品も引き続き好調に推移した結果、当社グループでは、売上高は186億81百万円（前年同期比19.6%増加）、セグメント利益（営業利益）は11億70百万円（前年同期比35.3%増加）となりました。

#### ② 金属家具事業

当セグメントにおきましては、停滞する家具市場において、新商品を中心に継続した販売促進活動を展開した結果、当社グループでは売上高は6億17百万円（前年同期比7.1%増加）、セグメント損失（営業損失）は21百万円（前年同期はセグメント損失23百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は288億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億84百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金、電子記録債権、商品及び製品の増加などにより流動資産が4億69百万円増加し、その他（有形リース資産など）及び関係会社出資金の増加などにより固定資産が8億15百万円増加したことによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ4億6百万円増加し、102億51百万円となりました。主な要因は、その他（設備関係電子記録債務など）が減少したものの、支払手形及び買掛金、電子記録債務の増加などにより流動負債が1億10百万円増加し、その他（長期リース債務など）の増加などにより固定負債が2億96百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ8億77百万円増加し、185億69百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加などによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年10月25日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,746,819	2,647,300
受取手形及び売掛金	4,249,881	4,455,142
電子記録債権	1,709,838	1,867,160
有価証券	29,991	30,039
商品及び製品	673,412	820,687
仕掛品	451,025	461,537
原材料及び貯蔵品	532,318	598,641
その他	337,681	319,705
流動資産合計	10,730,967	11,200,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,288,277	2,196,871
機械装置及び運搬具(純額)	4,673,037	4,522,411
工具、器具及び備品(純額)	537,985	717,125
その他(純額)	2,973,254	3,179,266
有形固定資産合計	10,472,555	10,615,676
無形固定資産	656,181	558,317
投資その他の資産		
関係会社出資金	3,042,004	3,476,813
その他	2,638,118	2,973,430
貸倒引当金	△3,200	△3,200
投資その他の資産合計	5,676,922	6,447,043
固定資産合計	16,805,658	17,621,037
資産合計	27,536,626	28,821,251

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,999,496	2,231,379
電子記録債務	1,916,598	2,256,568
短期借入金	67,000	42,000
1年内返済予定の長期借入金	264,113	264,200
未払法人税等	55,924	46,657
賞与引当金	291,787	73,659
その他	1,962,409	1,753,588
流動負債合計	6,557,330	6,668,054
固定負債		
長期借入金	1,388,254	1,190,344
役員退職慰労引当金	143,874	148,214
環境対策引当金	920	920
退職給付に係る負債	78,891	74,603
その他	1,675,866	2,169,775
固定負債合計	3,287,807	3,583,857
負債合計	9,845,137	10,251,912
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,036,000	1,036,000
資本剰余金	574,405	574,405
利益剰余金	13,987,922	14,607,904
自己株式	△282,718	△282,718
株主資本合計	15,315,609	15,935,590
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	734,451	963,728
為替換算調整勘定	1,099,857	1,172,960
退職給付に係る調整累計額	63,524	26,306
その他の包括利益累計額合計	1,897,833	2,162,995
非支配株主持分	478,046	470,752
純資産合計	17,691,488	18,569,338
負債純資産合計	27,536,626	28,821,251

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	16,190,692	19,299,027
売上原価	14,476,820	17,088,397
売上総利益	1,713,872	2,210,630
販売費及び一般管理費	1,556,569	1,710,061
営業利益	157,302	500,569
営業外収益		
受取利息	3,380	5,886
受取配当金	41,854	42,738
持分法による投資利益	353,574	402,146
その他	86,740	73,573
営業外収益合計	485,550	524,345
営業外費用		
支払利息	10,183	14,787
為替差損	164,352	3,418
その他	3,907	2,165
営業外費用合計	178,443	20,371
経常利益	464,410	1,004,543
特別損失		
固定資産除却損	18,399	4,235
災害による損失	210,051	—
特別損失合計	228,451	4,235
税金等調整前四半期純利益	235,959	1,000,308
法人税、住民税及び事業税	2,222	79,738
法人税等調整額	△20,416	158,838
法人税等合計	△18,193	238,576
四半期純利益	254,152	761,731
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,370	△3,737
親会社株主に帰属する四半期純利益	258,522	765,469

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	254,152	761,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	122,150	229,821
為替換算調整勘定	△623,379	40,411
退職給付に係る調整額	△38,719	△37,217
持分法適用会社に対する持分相当額	△495,605	32,690
その他の包括利益合計	△1,035,553	265,706
四半期包括利益	△781,401	1,027,438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△778,107	1,030,631
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,293	△3,193

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	可鍛事業	金属家具事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,614,292	576,400	16,190,692	—	16,190,692
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,614,292	576,400	16,190,692	—	16,190,692
セグメント利益又は損失(△)	865,303	△23,649	841,653	△684,350	157,302

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△684,350千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	可鍛事業	金属家具事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,681,370	617,657	19,299,027	—	19,299,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,681,370	617,657	19,299,027	—	19,299,027
セグメント利益又は損失(△)	1,170,808	△21,332	1,149,475	△648,906	500,569

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△648,906千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(シンジケートローン契約)

当社は、平成29年10月25日開催の取締役会において、株式会社三菱東京UFJ銀行をアレンジャー兼エージェン  
ト、株式会社三井住友銀行をコ・アレンジャーとする岐阜県土岐市に建設する新工場の資金調達を目的とした、  
シンジケーション方式のタームローン契約を行うことを決議し、契約を締結いたしました。

その主な内容は以下のとおりであります。

1. 組成金額

20億円

2. 契約締結日

平成30年1月16日

3. 契約期間

平成30年1月19日～平成39年9月10日

4. 担保・保証人

なし

5. 財務制限条項

- (1) 本契約締結日又はそれ以降に終了する借入人の各年度の決算期の末日における借入人の連結の貸借対照表  
における純資産の部の金額が、当該決算期の直前の決算期の末日又は平成29年3月に終了する決算期の末日  
における借入人の連結の貸借対照表における純資産の部の金額のいずれか大きい方の75%の金額以上である  
こと。
- (2) 平成32年3月以降に終了する借入人の各年度の決算期に係る借入人の連結の損益計算書上の経常損益に関  
して、それぞれ2期連続して経常損失を計上しないこと。なお、平成31年3月に終了する決算期は、ここで  
いう「2期連続」の対象に含めないものとする。